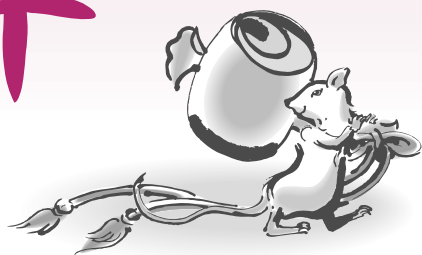


新年



新しいまちづくりを目指して

笠松町長 広江 正明

新年あけましておめでとうございます。

平成二十年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様のご多幸を心からお祈りいたします。

平素は町政に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、ここに厚くお礼を申し上げます。

さて、笠松町は平成十七年度から取り組んでおります「笠松町行財政改革推進プラン」は計画最終年度を迎え、町民の皆様のご協力のもと、一定の成果をあげております。しかしながら、国や県からの権限移譲、地方交付税の削減など地方公共団体を取り巻く経済情勢は依然として厳しいものがあり、来年度以降も、今まで以上に健全な財政運営が必要となってきます。このような中、真に必要な行政サービスを見極めながら、財政基盤をより強固なものとするだけではなく、将来の笠松町の活性化へ向けて、各種施策を進めてまいります。

まず、将来の笠松町を担う子

どもたちのために、教育の充実強化を図ってまいります。よりよい環境で子どもたちが学び、成長できるよう有識者による「笠松町教育施策懇話会」を立ち上げ、今の子どもたちにとって何が大切かを考えるとともに、特色ある教育施策を構築し、なるべく早い時期に実施に移せるよう進めてまいります。それと同時に、今年度から進めております道徳教育については、昨年十二月議会で道徳のまちづくり条例を制定し、全町民の皆様を対象とした具体的な事業を進めてまいります。

また近年、大規模震災が全国各地で続いており、この地域での発生も危惧されております。震災発生時の被害を最小限にとどめるため、自主防災会と一体となり防災意識を高めるとともに、小学校校舎の耐震補強など防災対策を強化していきます。

さらに、伝統ある歴史や豊かな自然、笠松競馬場など地域資源を活かし、人が集い、交流す

る場として、「まちの駅・川の駅」を整備してまいります。それに向けての第一歩として、今年、名鉄笠松駅構内に、町の情報発信拠点施設を開設する予定で進めてまいります。「まちの駅」

につきましては、地域住民のかたへの情報発信や笠松町に訪れるかたへの観光案内など、そこに集まる人と人との出会いと交流の拠点となるよう既存の施設や店舗などを活用しながら構築し、それが町全体に広がっていくようPRすることによって、活性化に繋げていきたいと考えております。

また、「川の駅」につきましても、笠松みなど公園を拠点として、広域的な連携も含めて整備推進してまいります。

今後とも、全職員一丸となって各種施策に全力で取り組み、町民の皆様とともに考え、夢の持てる笠松町を目指して邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。